

出演団体 プロフィール・演目

平賀保育園

演目: 煌めき

「煌めき」は、ねぶたという津軽の伝統文化を大切にしたいという思いでつくられたオリジナル曲です。代々受け継がれているこの曲は、年長になれば自分たちがやれるという憧れの和太鼓曲であり、発表するようになってから15年目となりました。みんなで心をひとつにして迫力ある和太鼓の響きをお届けします。



尾崎獅子踊保存会

演目: 山踊り

猿の面をつけた「おかしこ」と二匹の雌獅子、一匹の雄獅子と笛・太鼓・手平鉦、歌い手の囃子方によって構成され、祖霊崇拝、五穀豊穰などの想いが込められています。約400年以前から伝えられたとされ、地区城主のお抱え獅子であったとも伝えられています。重心を下げた荘重で力強い踊りを特徴としています。(昭和36年県無形民俗文化財指定)



嘉瀬奴踊保存会 (五所川原市)

演目: 嘉瀬の奴踊り

嘉瀬の奴踊りは、古くから伝わる田植え踊りであり、秋の豊作を祈願したものとされています。歌詞中の「石コ流れて木の葉コ沈む」は、誠実なものは恵まれず、狡猾なものがはびこり残念なことだと、この世のサカサマを風刺しています。踊りは、中腰基本の激しく速い動きで、他に例を見ない特異なものとして全国的にも知られています。(昭和44年県無形民俗文化財指定)



御関所太鼓保存会

演目: 子供太鼓曲打ち 御関所みこし太鼓

礎ヶ関御関所太鼓は、御関所が復元されたのを機に、郷土出身の奈良一三(いちぞう)氏の作曲によって三笠山のたたまいや出湯の姿、平川の清流の様相を太鼓の響きでアレンジしながら長寿と豊年の願いをこめて作曲したものです。



平賀登山囃子保存会

演目: 登山囃子 下山囃子

五穀豊穰の感謝と祈願をこめ、岩木山頂へ団体登拝する伝統行事「お山参詣」の祭囃子である「登山囃子」「下山囃子」。その起源は真言密教の音楽であるともいわれますが、古くは各集落それぞれに曲があったものを、もともとの曲調をくずさないようにアレンジし、現在の共通の囃子としました。



今別荒馬保存会 (今別町)

演目: 荒馬

田植えが終わり、田の神が天に昇るとき、農民が神に加護と感謝のために催される神送りの行事として伝わってきたものです。最初はおとなしく引かれていた馬が、囃子が増えるにつれ、荒々しく跳ね回り、ついには手綱を振り切って暴れます。馬と距離を保ちながらそれを鎮める手綱取りの駆け引きに注目してください。(平成15年県無形民俗文化財指定)

